

第3次嘉麻市総合計画策定にかかる オピニオン（メッセージ）ボード 実施結果報告書

1. 実施概要

- ・ 名称 : 嘉麻市オピニオン・ボード「嘉麻の未来へメッセージ」
- ・ テーマ : 10年後の嘉麻市、こうなったらいいな
- ・ 実施期間: 令和8年6月15日（月）～6月30日（火）（平日12日間）
- ・ 設置場所: 本庁舎、碓井支所、山田支所、嘉穂支所（計4箇所）
- ・ 実施方法: 各会場に専用ボード・付箋（メッセージカード）・筆記用具を設置し、来場者が自由に意見を記入・貼付する形式で実施
- ・ 回収結果: 付箋メッセージ 45件

2. 集計・分析にあたっての留意事項

本ボードは匿名かつ自由記述の広聴手法であり、統計的な代表性を持つ調査ではありません。したがって、以下の集計結果は市民全体の意見分布を示すものではなく、「どのような視点からの声が寄せられたか」という傾向を把握するための参考情報として取り扱います。

記載内容の分類にあたっては、単純なキーワードの一致ではなく、記述の主旨に基づいて分類しました。1件の記述に複数の論点が含まれる場合は、該当する複数のカテゴリに重複して計上しています。

回収した45件のうち、特定の個人を揶揄する内容を含む記述が2件確認されました。これらは対象者の特定や名誉に関わるおそれがあるため、本報告書には掲載していません。したがって、以下の分析対象は43件です。

また、43件のうち1件は、多文化共生に関して否定的な立場からの意見でした。具体的な記載内容の掲載は避け、「3. 全体傾向のまとめ」において意見の存在のみを言及する形としました。したがって、次項「4. カテゴリ別集計」で件数・代表例を示す対象は、残る42件です。

3. 全体傾向のまとめ

今回寄せられた42件の意見を内容の主旨に基づき分類したところ、「子ども・子育て・若者」(12件、28.6%)、「生活利便・商業・娯楽」(11件、26.2%)、「地域コミュニティ・つながり」(10件、23.8%)、「健康・福祉・安心」(10件、23.8%)などに関する意見が多くみられました。

「子ども・子育て・若者」では、子どもがのびのびと育つ環境や、子育て世代・若い世代が住みたいと思えるまちを望む声がみられました。また、子どもや若者が将来も嘉麻市に住み続け、家庭を築いていくことへの期待など、次世代を担う人々が暮らし続けられるまちを望む意見も寄せられました。

「生活利便・商業・娯楽」では、飲食店や買い物環境の充実、移動販売、家族で楽しめる飲食店や商業施設、娯楽施設など、日常生活の利便性や楽しみを高めることを求める具体的な意見が多くみられました。単に生活に必要なサービスの確保だけでなく、嘉麻市内で食事や買い物、余暇を楽しめる環境への期待もうかがえました。

「地域コミュニティ・つながり」では、「笑顔」「思いやり」「助け合い」など、人と人とのつながりを大切にしたいまちを望む意見が多くみられました。老若男女が暮らしやすく、互いに支え合いながら、活気と笑顔のある地域を望む声からは、施設やサービスの充実だけではなく、地域における人のつながりや支え合いを重視する思いがうかがえました。

「健康・福祉・安心」では、高齢者が暮らしやすいまちや、年金など生活を支える制度への期待に加え、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまちを望む意見がみられました。また、妊婦や子どもの医療・救急対応など、安心して暮らすための医療環境に関する具体的な課題も記述されていました。

このほか、「交通・移動」では、公共交通の利便性向上や、買い物・生活を支える移動手段の確保を求める意見がみられました。「産業・雇用・移住・定住」では、働く場の確保、若い世代の定住、移住者の増加、地域の稼ぐ力など、人口や地域経済の活力につながる意見が寄せられました。また、「観光・交流・魅力発信」では、観光客の誘客や地域の魅力を発信すること、「自然・環境」では、豊かな自然を守り、環境に配慮したまちづくりを進めることを望む声がみられました。

4. カテゴリ別集計

以下は、分析対象 42 件を内容の主旨に基づき分類した結果です。1 件が複数のカテゴリに該当する場合は、それぞれのカテゴリに重複して計上しているため、件数の合計は 42 件を超えます。

カテゴリ	件数	割合	代表的な記述（要旨）
子ども・子育て・若者	12 件	28.6%	「子ども達がのびのび育つまち」「子育て世代が住みたいと思う街」「若い世代が嘉麻市に住みたいと思える」等
生活利便・商業・娯楽	11 件	26.2%	「飲食店が今よりたくさん」「買いものがしやすいまち」「大型ショッピングモールがほしい」等
地域コミュニティ・つながり	10 件	23.8%	「たくさんの笑顔があふれる市」「人と人が助けあえる」「思いやりと活気に満ちた笑顔あふれる市」等
健康・福祉・安心	10 件	23.8%	「お年寄りもくらしやすく」「いつまでも安心して生活できる」「妊婦や産まれてくる子供が過ごしやすいまち」等
産業・雇用・移住・定住	7 件	16.7%	「ずっと住んでよかったと思うまち」「女性が笑顔で働き、くらせる街」「移住者がたくさん増えて、稼ぐ力がある嘉麻市」等
交通・移動	5 件	11.9%	「移動販売車がたくさんうごいてほしい」「交通の便が良くなってほしい」「交通の便が悪い」等
観光・交流・魅力発信	5 件	11.9%	「たくさん人が集まる町」「たくさんの観光客が来る有名な町」「地域の魅力を受け継ぎ、未来へ伝えていく」等
自然・環境	5 件	11.9%	「自然豊か」「自然が保たれる環境の町」「環境にも優しいまちづくり」等
行財政・持続可能性	2 件	4.8%	「働ける人は働いてきちんと納税」「破綻の危機を気にせずに生活できること」等

5. 総括

今回のメッセージボードでは、「10 年後の嘉麻市、こうなったらいいな」をテーマとして、日常生活の利便性や子ども・子育て、地域のつながり、健康・福祉、交通、産業・雇用、観光・交流、自然・環境など、多岐にわたる意見が寄せられました。

特に、子どもがのびのびと育つ環境や、子育て世代・若い世代が住みたいと思えるまちを望む声、買い物や飲食など日常生活の利便性の向上を求める声が多くみられました。また、「笑顔」「思いやり」「助け合い」など、人と人とのつながりを大切にし、誰もが安心して暮らせるまちを望む意見も多く、物理的な生活環境の充実だけでなく、地域における支え合いや人のつながりを重視する市民の思いがうかがえました。

一方で、交通の利便性、医療・救急対応、買い物環境など、現在の暮らしの中で感じている具体的な課題を示す意見もみられました。特に、妊婦や子ども、高齢者などの移動や生活を支える環境については、複数の意見に関連しており、安心して住み続けるための基盤として捉えることができます。

さらに、移住者の増加や地域の「稼ぐ力」、観光客の誘客、地域の魅力発信など、嘉麻市の外から人を呼び込み、地域の活力を高めることを期待する意見も寄せられました。これらは、現在の市民の暮らしを支えるだけでなく、若い世代や次の世代が住み続けられる持続可能なまちをつくっていくことへの期待とも捉えられます。

以上を踏まえると、今回寄せられたメッセージからは、「安心して暮らせること」を土台として、「人と人がつながり、笑顔で暮らせること」、「子ども・若者が住み続けたいと思えること」、そして「地域に活気があり、外からも人が集まること」を望む市民の思いが共通してうかがえます。